

大宮工業・浦和工業新校基本計画検討資料

第2期実施方策における新校の基本方針

- ・機械、電気、建築、ロボット技術及び専門情報に関する学科を置き、先端産業分野で活躍できる人材の育成を目指します。
- ・学科横断型の課題研究などを通して専門知識の統合を図り、新たな価値の創造に結び付けていく資質・能力を育成します。
- ・県内の工業・情報教育の拠点となる高校を目指します。

基本理念

(1) 目指す学校

大宮工業高校案	浦和工業高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
<p>「日本を支え 世界で活躍する エンジニアを育成する学校」 ～ 中学生に憧れを！ 在校生に自信を！ 卒業生に誇りを！ ～</p> <p>① 埼玉県工業教育・情報教育を牽引し、先端分野で活躍できる力を育み、日本を支え世界で活躍する エンジニアを育成する学校を目指すとともに、中学生の憧れとなり、在校生に自信を持たせ、卒業生が誇りを持つ地域への誇りとなる学校を目指す。</p> <p>② [基本方針より] 日本はもとより世界の技術革新に対応できる変化し続ける学校を目指す。</p> <p>③ [MHS 方針より] スタートアップを支援するとともに、小中学生の職業に対する興味関心高める地域のものづくりの拠点となる学校を目指す。</p>	<p>①【グローバル】「世界で活躍する人材の育成する学校」(国際化社会への対応)</p> <p>②【イノベーション】「社会への変化へ柔軟に対応し、さらに新たな価値を生み出す教育を実践する学校」(スタートアップ企業、起業家の育成)</p> <p>③【サステナブル】「生涯にわたり学び続け、社会貢献する人材を育成する学校」(地域ものづくりの拠点、小中学生のものづくりへの興味関心を高める)。</p>	<p>・新校基本方針との関連 「県内の工業・情報教育の拠点となる高校」</p> <p>◎「世界で活躍する人材の育成」</p> <p>◎「スタートアップ」</p> <p>◎「小中学生のものづくりへの興味関心を高める」</p> <p>◎「地域のものづくりの拠点」</p>	<p>ア 埼玉県の工業教育・情報教育を牽引し、先端産業分野で活躍できるエンジニアを育成する学校</p> <p>イ ものづくり全般に関わる基礎から、新たな価値を生み出す教育まで、Society5.0に対応する学びを実践する学校</p> <p>ウ ものづくり教育の拠点として、地域や社会に貢献しようとする生徒を育てる学校</p>

(2) 育てたい生徒像

大宮工業高校案	浦和工業高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
<p>①【至誠一貫】誠意を持って取り組み貫き通すことができる生徒</p> <p>②【質実剛健】中身が充実して心身ともに強くたくましい生徒</p> <p>③【進取果敢】時代の変化に柔軟に対応し、今、何をすべきか何が必要かを主体的に考え行動できる生徒</p> <p>④【初志貫徹】「ものづくりが好きだ」「よりよいものをつくりたい」という思いを胸に、こだわりを持って自らが設定したゴールに向かって最後まで諦めずに取り組む生徒</p>	<p>①【知性の高揚】広い視野と豊かな教養を持ち、高い知性を求める人間を育てる</p> <p>②【技術の鍛錬】社会の急速な進展に応じられる科学技術を身に付けようとする態度を育てる</p> <p>③【誠実さの養成】責任を重んじ、つねに真摯な態度で事にあたる誠実な人間性を養う</p>	<p>・新校基本方針との関連 「先端産業分野で活躍できる人材の育成」</p> <p>・項目の立て方</p>	<p>ア 何事にも誠実に取り組み、貫き通すことができる生徒</p> <p>イ 広い視野と豊かな教養を身に付けた、心身ともに強くたくましい生徒</p> <p>ウ 社会や時代の変化に柔軟に対応し、主体的に考え行動できる生徒</p> <p>エ ものづくりが好きで、生涯にわたり学び続け新たな価値を創造することができる生徒</p>

教育活動等の基本方針とその具現化

(1) 基本姿勢

大宮工業高校案	浦和工業高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
<p>①工業教育・情報教育を牽引する学びの拠点としての教育活動を展開する。</p> <p>②教職員自らが、「育てたい生徒像」の範たる姿勢で臨む教育活動を展開する。</p> <p>③マイスター・ハイスクール事業の成果を最大限に反映・活用した教育活動を展開する。</p>	<p>①埼玉県工業教育・情報教育のパイロット校として役割を果たし、さらに全国に発信する学校</p> <p>②教職員が自ら教育課題を発見し充実した教育環境の実現に向け取り組む学校</p> <p>③大学や地域と連携した質の高い教育を展開する。</p>	<p>・学習指導要領との関連(育成を目指す資質・能力の三つの柱)</p> <p>・「マイスター・ハイスクール事業の成果」</p> <p>・「大学や地域との連携」</p> <p>◎「工業教育・情報教育を牽引する学びの拠点(パイロット校)」</p> <p>◎「教職員の取組」</p>	<p>工業教育・情報教育を牽引する「学びの拠点」として、教職員が自ら教育課題を発見し、主体的・対話的で深い学びの視点から学習内容の充実を図るとともに、先端産業分野で活躍できる人材育成のために地域と協働して探究的な教育活動を実践する。</p>

(2) 教科指導

	大宮工業高校案	浦和工業高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
基本方針	<p>①「協働教育」の推進 ※ マイスター・ハイスクール事業の継承</p> <p>②「個別最適な学び」の推進</p> <p>③「協働力の育成」の推進</p> <p>④学びの基盤となる「情報教育」の充実 ※ 「情報教育」 → 「数理・データサイエンス・AI」の基礎</p>	<p>①個人の可能性を最大限に生かす教育の実践</p> <p>②協働的な学びや主体的な学びの推進した授業の実践</p> <p>③地域の教育力の活用</p> <p>④国際理解・国際化への対応</p>	<p>・新校基本方針との関連 「学科横断型の課題研究」「新たな価値の創造に結び付けていく資質・能力の育成」</p> <p>・学習指導要領との関連(カリキュラム・マネジメント、主体的・対話的で深い学び等)</p> <p>・「国際理解・国際化」</p> <p>◎「協働教育」</p>	<p>ア ものづくり全般に関する基礎的な学びを大切にしながら、学びの基盤となる情報教育を充実させる。</p> <p>イ 学科横断型の探究活動を通して、生徒の資質・能力の向上を図る。</p> <p>ウ 地域や企業との協働教育を図り、主体的な学び・個別最適な学びを推進した授業を実践する。</p>
具現化	<p>⑤徹底した教え込みと主体的な学びに誘う授業の実践</p> <p>⑥ICTを道具として当たり前を活用する授業の実践</p> <p>⑦マイスター・ハイスクールCEOによるマネジメント等の継承</p> <p>⑧産業実務家教員の活用</p> <p>⑨先端技術に関する展示会への積極的な参加</p> <p>⑩総合選択制による教科指導</p> <p>⑪校外における学修の単位認定</p> <p>⑫生徒が計画的に自由に活用できる学習環境の提供</p> <p>⑬学科横断型課題研究の充実</p> <p>⑭教科横断型授業・学科連携授業の充実</p> <p>⑮ミックスホームルームの実施</p> <p>⑯工業科代替科目「工業情報数理」 → 情報科教員による「情報I」または、学校設定科目の実施</p> <p>⑰「数理・データサイエンス・AI」をリテラシーとして当たり前を活用する授業の実践</p>	<p>⑤希望進路に応じた科目選択(学びコーディネータ)</p> <p>⑥生徒や地域のニーズに応じたカリキュラム・マネジメントの実践</p> <p>⑦授業におけるICTの活用</p> <p>⑧アクティブラーニングや協働的な学びの推進</p> <p>⑨プレゼンテーションなど説明する力を重視する教育</p> <p>⑩社会人講師や大学の教員などによる専門性の高い授業の実現</p> <p>⑪一部の外国語での授業を実施</p> <p>⑫多文化理解・多様性を尊重する教育</p>	<p>・探究活動(「総合的な探究の時間」の充実)</p> <p>・教科横断的な学び</p> <p>・学習評価の在り方</p> <p>・「外部連携、外部講師等の活用」</p> <p>◎「ICTの活用」</p>	<p>ア 総合選択制の導入や校外における学修単位の認定など、特色のある教育課程を編成する。</p> <p>イ 生徒や地域のニーズに合わせたカリキュラム・マネジメントを実践する。</p> <p>ウ 学科横断型課題研究や教科横断型・学科連携授業などを充実させる。</p> <p>エ ICTを積極的に活用し、「数理・データサイエンス・AI」のリテラシーを踏まえた授業を実践する。</p> <p>オ 生徒が計画的に活用できる学習環境を提供する。</p> <p>カ 産業実務家教員等の外部人材を活用するなど、専門分野に対する生徒の興味・関心を高める。</p>

(3) 生徒指導

	大宮工業高校案	浦和工業高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
基本方針	<p>①主体的で礼儀正しい生徒の育成</p> <p>②エンジニアとしての基盤の構築</p> <p>③「トリプル100」の推進 就職内定 100% 大学進学現役合格 100%(→ 100人) 国家資格取得 100%の実現</p>	<p>①規律を守り礼儀正しい生徒の育成</p> <p>②エンジニアとしての資質の育成</p> <p>③多文化・多様性の尊重</p>	<p>・生徒指導提要との関連</p> <p>◎「礼儀正しい生徒」</p> <p>◎「エンジニアとしての基盤、資質」</p>	<p>ア 誠実で礼儀正しい生徒を育成する。</p> <p>イ エンジニアとしての規範意識の構築を図る。</p> <p>ウ 他者の立場を理解し、思いやりのある生徒を育成する。</p>
具現化	<p>④生徒・教職員の明るく元気なあいさつの奨励</p> <p>⑤法や一般常識に照らし合わせた対処</p> <p>⑥「身だしなみを整えること」を基本とした整容指導</p> <p>⑦生徒・保護者・教員でつくり上げる生活ルール</p> <p>⑧5S順守(遵守)</p> <p>⑨総合選択制による教科指導</p> <p>⑩校外における学修等による単位認定企業等との連携の強化 - 国家資格取得のための授業の実施 - 進学のための授業の実施</p> <p>⑪企業・大学・専門学校等との連携の強化</p>	<p>④校門指導、挨拶指導</p> <p>⑤身だしなみ指導</p> <p>⑥5S活動の推進</p> <p>⑦安全教育の徹底</p> <p>⑧生徒の特性を配慮した生徒指導</p>	<p>・教育相談への言及</p> <p>◎「5S」</p>	<p>ア 元気な挨拶を奨励し、明るく活気のある環境づくりに努める。</p> <p>イ 5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)活動や安全教育の推進を図る。</p> <p>ウ 企業・大学・専門学校等と連携した進学や資格取得のための授業を通して、生徒の自発的な行動を促す。</p> <p>エ 地域のイベント企画やボランティア活動等への参加を通して、自己肯定感や自己有用感を高める。</p> <p>オ 学校の教育活動を通じて多様性を尊重する態度を養い、人権課題への理解を深める。</p> <p>カ 教職員一人一人がカウンセリングマインドを身に付け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携するなど、組織的な教育相談体制を確立する。</p>

(4) 進路指導

	大宮工業高校案	浦和工業高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
基本方針	<p>①キャリアデザイン力の醸成 「自他理解」「自己開発」「自己実現」を根差した教育活動の実現 将来を見据えた職業観の醸成 主体的な進路実現力の育成</p> <p>②「個別最適な学び」の推進</p> <p>③「トリプル100」の推進 就職内定 100% 大学進学現役合格 100% (→ 100人) 国家資格取得 100%の実現</p>	<p>①キャリア教育の推進</p> <p>②資格取得の推進</p> <p>③進学支援</p> <p>④100%の進路保障</p>	<p>・新校基本方針との関連 「先端産業分野で活躍できる人材の育成」</p> <p>◎「キャリアデザイン、キャリア教育」</p> <p>◎「トリプル100」、 「100%の進路保障」</p>	<p>ア 「自他理解」、「自己開発」、「自己実現」に根差した教育活動を実現し、キャリアデザイン力を醸成する。</p> <p>イ 生徒一人一人の進路希望に応じたきめ細かな指導を行う。</p> <p>ウ 全ての生徒の進路実現を目指して、組織的・計画的な指導を行う。</p>
具現化	<p>④企業および大学・専門学校等との連携の強化 企業及び大学研究室等でのインターンシップの充実 進路フェア(「キャリアデザインアゴラ」の開催) 産業実務家教員の活用 ICTを活用した調査研究の推進</p> <p>⑤総合選択制による教科指導</p> <p>⑥校外における学修等による単位認定 7/8時間目授業の実施 - 国家資格取得のための授業の実施 - 進学のための授業の実施</p> <p>⑦大学、専門学校との連携の強化 継続教育の仕組み(制度)の構築</p>	<p>⑤学年に応じた計画的な進路指導、キャリアパスポートの活用</p> <p>⑥教育課程外(7時限等)による資格取得のための補習</p> <p>⑦難関大学へ進学するための支援、指導・補習等</p> <p>⑧生徒の強みを生かした進路相談・進路指導</p>	<p>・探究活動(「総合的な探究の時間」の充実)</p> <p>・「大学・専門学校等との連携」</p> <p>◎「資格取得」</p>	<p>ア 企業および大学、専門学校との連携を強化し、インターンシップや進路ガイダンスの開催等、キャリア教育の充実を図る。</p> <p>イ キャリアパスポートを効果的に活用し、3年間を見通した計画的・実践的なキャリア教育を展開する。</p> <p>ウ 資格取得や大学進学のための進路指導及び学習支援の充実を図る。</p> <p>エ 探究活動等を通じて生徒一人一人が主体的に進路選択できるよう、進路意識の醸成を図る。</p>

(5) 生徒募集

	大宮工業高校案	浦和工業高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ①中高のキャリア教育の連携 ②生徒の活動の場の確保・提供 ③積極的な情報発信 ④県との協働による取組 ⑤県による広報活動の充実 ⑥推薦入試等特別な入試制度 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域での広報活動 ②情報発信 ③中学校への働きかけ ④独自の入試制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・「中高連携」 ・「地域での広報活動」 ◎「独自の入試制度」 	<ul style="list-style-type: none"> ア 小・中学生や保護者が関心を持てるよう、様々な機会を捉えて積極的に情報発信する。 イ 学校の特色や育てたい生徒像を踏まえ、目的意識が高く意欲のある生徒の募集に努める。 ウ 地域における教育活動を積極的に行い、生徒の活動を通じ幅広く広報活動を行う。
具現化	<ul style="list-style-type: none"> ⑦中高教員の情報交換の場づくり ⑧地域コミュニティ等との連携の強化 ⑨小中学生を対象とした「高校生が先生のものづくり教室」の実施等 ⑩新聞をはじめとしたメディア等への情報提供 ⑪ホームページの充実 ⑫本校を会場とした高校説明会の実施 ⑬本校を会場とした小中学校教員の会議・研修の実施 ⑭テレビ新聞等を活用した専門高校のイメージ改善のためのキャンペーンの実施 ⑮新校オリジナルの入試制度の実施 ⑯入学者選抜方法の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤地域のイベントなどに積極的に参加 ⑥学校理解への広報活動の実施 ⑦SNS等を活用した広報活動 ⑧キャリア教育の中学校への支援 ⑨理系女子の拡大にむけての啓発活動 ⑩独自の推薦入学制度、自己PR、プレゼン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの活用やパブリシティ活動、SNSを含めたメディア展開等の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ア 中学校・高校教員の情報交換の場を設け、新校を会場とした学校説明会や小中学校教員を対象とした研修会を実施する。 イ 小・中学生を対象とした「高校生が先生のものづくり教室(仮)」の実施など、地域コミュニティとの連携を強化する。 ウ 新聞をはじめとしたメディア等へ情報提供するとともに、学校ホームページを充実させ、SNS等を活用した広報活動を行う。 エ 入学者選抜において、学校の特色や育てたい生徒像を踏まえた選抜基準を設ける。

(6) その他

<ul style="list-style-type: none"> ①「マイスター・ハイスクール事業」の成果の継承 ②継続教育(大学等との連携の強化:継続教育の仕組み(制度)の構築) 	<ul style="list-style-type: none"> ア 産業界と一体となったカリキュラムの刷新・実践や、企業等の技術者・研究者等による授業や演習を実施するなどして、先端産業分野で活躍できる人材を育成する。 イ 指導の充実を目的とした様々な研修を実施して、教職員の資質・能力の向上を図る。
--	--